

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和
7年
6月

こんにちは。栃木はまるでもう梅雨が明けたように、毎日暑さが続いています。皆さんの地域はいかがですか？暑さに負けず、Newsletter 第82回配信です。

【診療科紹介 泌尿器科】

学生のみなさん、こんにちは。今月は泌尿器科の紹介をさせていただきます。

『泌尿器科医になろう』と思い、医師を目指した方はどのくらいいるのでしょうか？残念ながらかなり少数かと思われます…私自身もそうでした。手術がしたい、内科的な薬物治療もしたい、患者さんを最後まで診たい、でもある程度 QOL も重視したい…そんなあなたには是非一度泌尿器科を見に来て頂きたいと思います。

泌尿器科は腎臓、副腎、膀胱、前立腺、精巣など多くの臓器を扱います。それゆえに、悪性腫瘍、排尿障害、尿路結石、男性不妊、女性泌尿器、小児泌尿器、腎移植など扱う疾患也多岐にわたります。しかしながら、その割に泌尿器科医師はまだまだ少なく、どこにいてもスペシャリティとして重宝されます。泌尿器科医になって後悔した人は限りなく少ないはずです。

泌尿器科といえば『ロボット手術』です。前立腺、膀胱、腎の悪性腫瘍の手術をロボットで行っています。自治医大は Da Vinci を 2 台保有し、症例も多いため全国的にもかなり早い時期からロボット手術の執刀が可能です(泌尿器科 2 年目から!!)。ロボット手術をやりたい、という皆様の期待には必ずお答えします。

また、女性医師が活躍するフィールドも泌尿器科にはあります。手術執刀はもちろんのこと、女性患者さんも多いため患者さんからの信頼を集めています。自治医大泌尿器科はワークライフバランスにも気を配り、積極的に有休消化も推奨しています。もちろん育児をしながらの勤務も可能です。

自治医大は様々な出身大学の医局員が目標に向かい、臨床、研究、教育に取り組んでいます。成人泌尿器、小児泌尿器、腎臓外科の 3 部門から成り立っており、各部門のスペシャリストが揃っています。必ずや皆さんのモデルとなる先輩医師が見つかるはずです。是非一度泌尿器科を見学に来てください。心よりお待ちしております！



【医師国家試験予想問題】

【問題 1】

前立腺癌について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 前立腺癌検診で直腸指診は有用である。
- b. 低リスクの場合は PSA（前立腺特異抗原）監視療法も選択される。
- c. 診断は PSA と画像診断で可能である。
- d. 前立腺全摘除術後でも射精は可能である。
- e. 転移性前立腺癌では前立腺全摘除術が第一選択の治療法である。

正解：a,b

解説：

a,b. 正解

- c. 診断には前立腺生検による確定診断が必要である。
- d. 前立腺全摘除術では精嚢腺も同時に摘出し、射精は出来なくなる。
- e. 転移のある前立腺癌に対しては、内分泌療法をはじめ全身治療が必要である。

【問題 2】

72 歳男性、肉眼的血尿を主訴に来院。20 歳から 30 本/日の喫煙歴あり。機会飲酒。

半年前にも血尿を認めたが、無症状であり医療機関を受診していなかった。膀胱鏡では下の写真のような所見を認めた。身長 170 cm、体重 80kg。血圧 150/90mmHg。尿沈渣に赤血球多数/1 視野、白血球 5~10/1 視野。尿細胞診はクラスⅢ。膀胱内視鏡像を別に示す。



今後の治療方針として正しいものを2つ選べ。

- a. 経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)を実施する。
- b. 膀胱全摘除術を実施する。
- c. 再発予防に禁酒をすすめる。
- d. 病理結果から今後の治療方針を検討する。
- e. 免疫チェックポイント阻害薬を開始する。

正解：a,d

解説：

膀胱腫瘍を認めたときは、まず診断・治療を兼ねて経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)を実施する。筋層浸潤の有無や CIS の有無など病理結果を踏まえ方針を決定する。筋層浸潤を認めれば膀胱全摘除術を検討、遠隔転移を認めれば全身治療が必要となる。